

---

## 糖代謝異常妊婦におけるインスリン療法の現状と問題点

---

妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠における血糖コントロールの現状を把握するためカルテによる患者の背景、投与インスリンの種類、治療経過、児への影響などの集積・解析を行います。

---

糖代謝異常妊婦（妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠）では周産期の母体・児への合併症予防のため、厳格な血糖コントロールが重要であります。一部の妊娠糖尿病の方には自己血糖測定（SMBG）が保険適応となり、早期インスリンの導入が可能となりました。しかし、妊娠糖尿病に対する SMBG の保険適応が限られており、インスリン投与による妊娠期間の血糖コントロールが適切に行われてないことが懸念されます。本研究から妊娠期間におけるインスリン療法の現状と問題点が明らかになれば、有効な治療介入の創出や、注意喚起する根拠となります。

---

インスリン投与の有無、投与されている場合はインスリンの種類、インスリン開始妊娠週数、分娩直前の1日インスリン総投与量、使用薬剤の有無、出生児に対しては在胎週数、出生時体重、低血糖の有無などです。

---

---

研究結果は学術集会や医学論文として発表する予定ですが、個人が識別できる方法では公表せずプライバシーの保護に十分配慮いたします。

